最近、あらゆるヒト・モノ・コトがインターネットにつながるIoT (Internet of Things)が注目を浴びています。ヒト・モノ・コトがインターネットにつながることにより、遠くにいても自動的に様々な情報を入手することができます。例えば、スマートフォンで温室の温度を随時確認することができます。さらに、その情報に応じて遠隔でモノを操作することもできます。今までは人手をかけていたことが自動化でき、コスト削減につながります。また、人が行うよりきめ細かい管理ができ、質の高い製品が作れるようにもなれます。こんな便利なIoTが、以前よりも簡単に、しかも安く実現できるようになってきました。

**基礎から学ぶ 「IoT入門セミナー」 　《信越》**

* 開催日時：**平成29年11月27日（月） 13:30～17:00（受付開始：13:00）**
* 開催場所：**ＪＡ長野県ビル　12階12A会議室**（長野県長野市大字南長野北石堂町1177-3）
* 主催：総務省信越総合通信局
* 共催：公益財団法人長野県テクノ財団
* 後援：長野県工業技術総合センター、公益財団法人長野県中小企業振興センター

 信越情報通信懇談会

* 参加費：無料（定員50名）

本セミナーでは、事例を紹介しながら、IoTで何ができるのか（メリット）や、自社で導入するにはどのような手順で行えばよいのかについてイメージをつかみ、自社導入のきっかけづくりができます。是非、ご参加ください。

**＜開催内容（予定）＞**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開始時間 | 終了時間 | 所要時間 | 内　容 |
| 13:30 | 13:40 | （10分） | 開会挨拶等 |
| 13:40 | 14:30 | （50分） | 【第１章】 IoTの基礎知識（IoTとは何か？　～IoTのイメージをつかもう～） |
| ・IoTとは 　・IoTの導入、利活用による効果 　・IoTの導入、利活用の例 |
| 14:40 | 15:40 | （60分） | 【第２章】 IoTの技術・関連法制度（もっと知りたいIoT　～IoTの技術を知ろう～） |
| ・IoTの技術 　・電波の有効利用 　・IoTのセキュリティ対策 　・IoT関連の標準化動向 |
| 15:50 | 16:50 | （60分） | 【第３章】 IoTの活用（自社でIoTを活用するには？　～IoTの導入手順を知ろう～） |
| ・IoT導入の進め方 　・自社のビジネス課題とIoTによる解決策の検討 |
| 16:50 | 17:00 | （10分） | アンケート、閉会 |

※このセミナーは「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」として実施しています

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**＜お申込方法＞** 下記「セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、次の宛先にお申し込みください。

 　　　 IoT導入支援セミナー事務局： NTTラーニングシステムズ（株）教育研修事業部

 　　　○E-mail送信先：iot-seminar-ml@nttls.co.jp ○FAX送信先：050-3730-3948

※メールでのお申し込みの場合、件名を“【信越】「IoT入門セミナー」申込み”としてください。

**＜申込期間＞** 平成29年10月19日（木）～11月13日（月）（やむを得ずお断りする場合には、別途事務局からご連絡をさせていただきます。）

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

***－ セミナー参加申込書 －***

|  |  |
| --- | --- |
| セミナー名 | 基礎から学ぶ 「IoT入門セミナー」　【信越】 |
| 事業者名 |  |
| 業種※該当するものにチェックしてください | □製造　 □流通・小売 □情報通信サービス　□金融・保険　 □防犯セキュリティ□エネルギー・鉱業 □建設・設備 □運輸・交通 　□公共　 □農林水産業□ヘルスケア・医療・介護 □その他サービス 　 □その他（　　　　　　　　　　　　　 　 ） |
| 参加者名 | （ふりがな） |
|  |
| 連絡先 | E-mail： TEL： FAX： |

※参加申込書に記載頂いた個人情報については、本セミナーのご案内に必要となる範囲内で利用させていただきます。